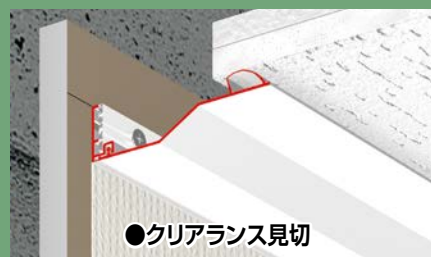


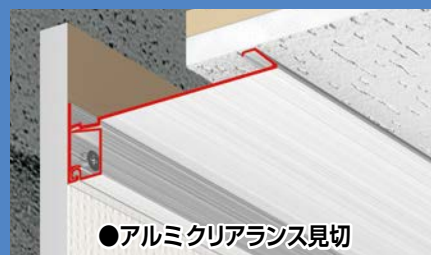
天井脱落対策に「クルリン・パチン」で簡単施工。

天井見切 クリアランス見切

樹脂製



アルミ製



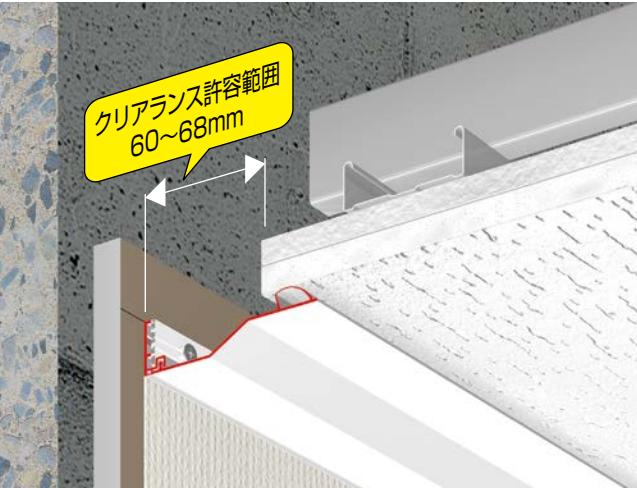
耐震天井の壁との隙間を意匠的にカバーする後付け見切。

軽量でコストパフォーマンスに優れる樹脂製〈クリアランス見切〉と、天井付近が高温になる場所に適した不燃性のアルミ製〈アルミクリアランス見切〉をご用意しました。

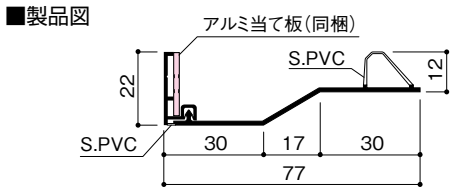
天井見切

クリアランス見切

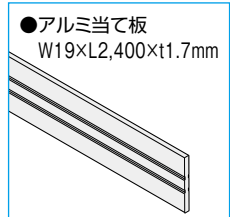
樹脂製



■製品図



●アルミ当て板
W19×L2,400×t1.7mm



●入隅 500
●出隅 500
●ジョイント
●エンドキャップ (両面テープ付)

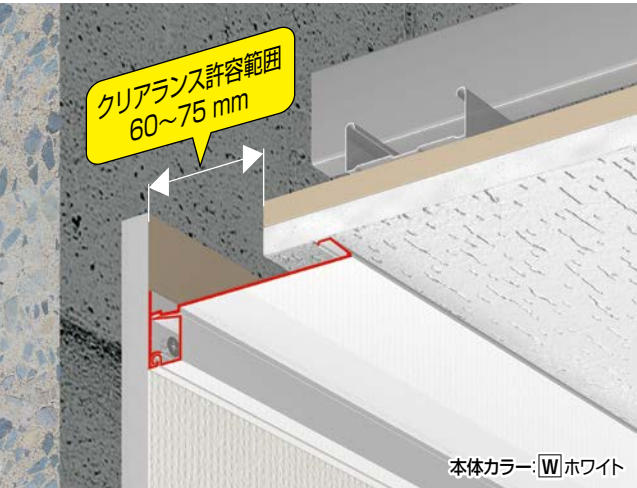
呼 称	規格 (mm)	カラー	コード	単品価格 (セット)	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
クリアランス見切	2,400	ホワイト	C7W3	¥3,100	¥62,000	20セット入 (1セット=見切1本、ジョイント1個、WGボードビス1本、アルミ当て板1本、取扱説明書)	○1セット単位
呼 称	規格 (mm)	カラー	コード	単品価格	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
クリアランス見切 入隅	500×500	ホワイト	C7EW	¥3,300/セット	¥6,600	2セット入 (1セット=入隅1個、ジョイント2個、WGボードビス2本、アルミ当て板2本)	○1セット単位
クリアランス見切 出隅	500×500		C7DW			2セット入 (1セット=出隅1個、ジョイント2個、WGボードビス2本、アルミ当て板2本)	
クリアランス見切 ジョイント	—		C7JW	¥220/個	¥4,400	20個入 (WGボードビス20本)	○1個単位
クリアランス見切 エンドキャップ			C7CW	¥625/セット	¥12,500	20セット入 (1セット=エンドキャップ1個、ジョイント1個、WGボードビス1本)	○1セット単位

ご発注に関する注意事項 バラ出荷対応いたします。ただし、1オーダーに正梱が含まれている場合についても梱包手数料として、¥2,000別途申し受けます。

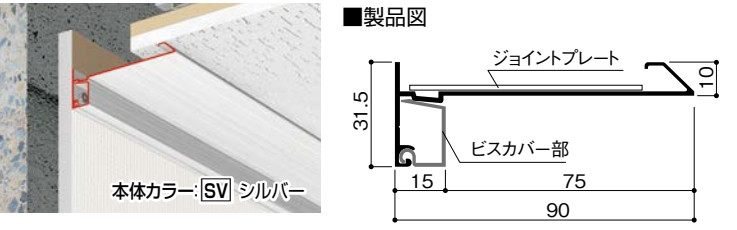
天井見切

アルミクリアランス見切

アルミ製



■製品図



●入隅 455
●出隅 455
●エンドキャップ R, L
●ジョイントプレート
巾20mm両面テープ
材質: 樹脂製

呼 称	規格 (mm)	コード	カラー	単品価格 (セット)	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
アルミ クリアランス見切	2,000	AC9□2	[SV]	¥4,400	¥52,800	12セット入、取扱説明書付き (1セット=見切1本、ジョイントプレート1枚)	○1セット単位
			[W]	¥5,800	¥69,600		
呼 称	規格 (mm)	コード	カラー	単品価格	梱包価格	梱包内容	バラ出荷対応
アルミ クリアランス見切 入隅	455×455	AC9E□	[SV]	¥6,600/セット	¥13,200	2セット入、取扱説明書付き (1セット=入隅1個、ジョイントプレート2枚)	○1セット単位
			[W]	¥7,600/セット	¥15,200		
アルミ クリアランス見切 出隅	455×455	AC9D□	[SV]	¥7,600/セット	¥15,200	2セット入、取扱説明書付き (1セット=出隅1個、ジョイントプレート2枚)	○1セット単位
			[W]	¥8,300/セット	¥16,600		
アルミ クリアランス見切 エンドキャップ	90×30×t1.2	AC9C□	[SV]	¥640/セット	¥6,400	10セット入 (1セット=エンドキャップL、R 各1個)	○1セット単位
			[W]	¥640/セット	¥6,400		
アルミ クリアランス見切ジョイントプレート	70×50×t2	ACJSV	シルバー	¥330/枚	¥4,950	15枚入	○1枚単位

ご発注に関する注意事項 ※コードNo.中の□には、カラー記号をご指示ください。
バラ出荷対応いたします。ただし、1オーダーに正梱が含まれている場合についても梱包手数料として、¥2,000別途申し受けます。

クリアランス見切 施工手順

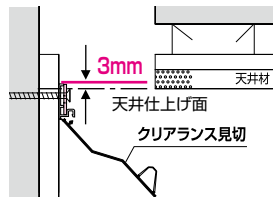
※見切本体固定用ビスは**下地にしっかり届く長さ**で、太さφ4mm以下のものを、現場調達ください。

手順1: 取付け位置への墨出し

天井仕上げ面より**3mm上**の位置に墨出ししてください。

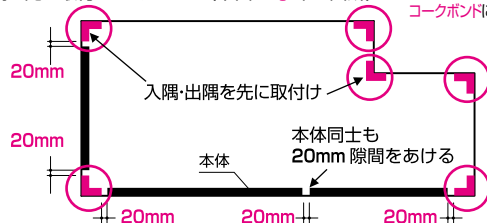
⚠注意

- 本体仕上げ面から3mmを超える位置に取付けますと、**手順4**で見切本体がはまりにくくなる、嵌合が外れやすくなるなどの原因となります。
- 天井仕上げ面より下に取付けますと、天井材と見切本体の間に隙間が生じる原因となります。



手順2: 取付け手順

入隅・出隅を先に取付けてください。(下図の○印の箇所) ※入隅・出隅の突き合わせ部分は**コークバンド**にて仕上げます。

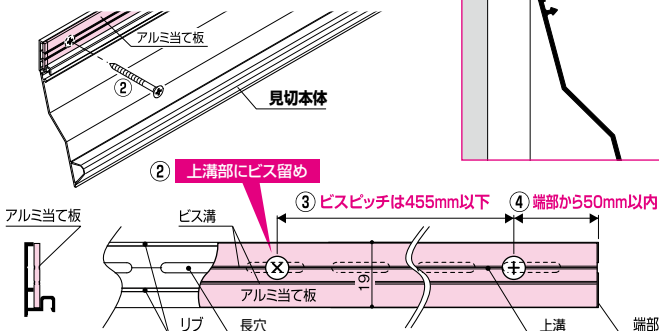


⚠注意

- 本体を取付ける際は、ジョイント部に**20mmの隙間**をあけてください。
- 後付けで、この隙間にジョイントカバー (巾30mm) を取付けます。

手順3: 見切本体の取付け

- ① 同梱のアルミ当て板を見切本体の溝部 (右図参照) に差し込み、左右位置を整えてください。
- ② アルミ当て板の上溝部に、下地に適したビスを打ってください。
- ③ ビス留めのピッチは**455mm以下**となるようにしてください。
- ④ **製品端部から50mm以内**の位置にビス留めしてください。

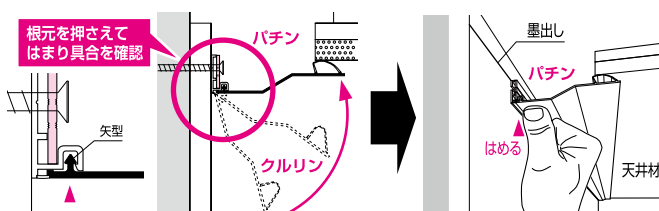


⚠注意

- 必ず、**同梱のアルミ当て板**を使用してください。
- 見切本体を加工切断する場合、アルミ当て板も本体と同サイズに切断してください。
- 本体に長穴が空いてありますが、ビスは下地の位置に打ってください。
- コンクリート下地の場合はアルミ当て板から下地にかけて下穴を空けてアンカープラグビスまたは、アンカープラグレスビスで留め付けてください。

手順4: 見切本体をはめる

上方向にクルリンと回転させて、根元の矢型をパチンと音がするまでしっかりとめてください。
※しっかりとまわり込んでいるか、根元を押し上げるように押さえて確認してください。



※本体を外したい場合

本品は外れにくい設計になっていますが、調整のためにどうしても外したい場合には見切を壁側に押し込みながら下げることで外すことが可能です。

⚠注意

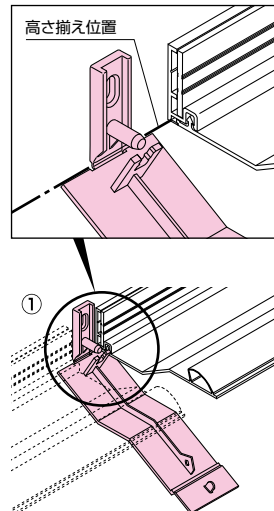
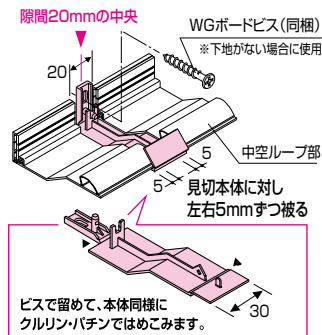
- 見切をはめた時点で、天井材との間に隙間がある場合は見切本体を取付けているビスが緩みすぎているか、取付け位置が天井仕上げ面より下になっているかを確認してください。
- いったん外して、ビスが緩んでいないか、取付け位置が天井仕上げ面より下になっていないか点検してください。

壁側に押し込みながら下けると外れる

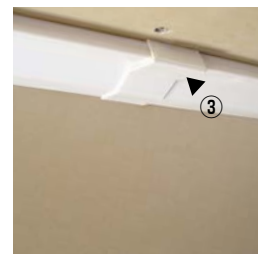
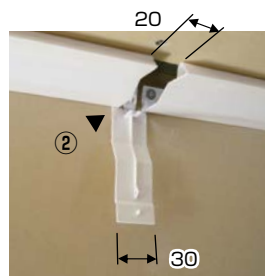


手順5: ジョイント取付け

- ① ジョイントは、取付け高さを本体に合わせて、**隙間20mmの中央**に下地に適したビスで留め付けます。
- ② 根元を折るように回転してはめ込みます。
- ③ 次に、先端を回転してはめ込みます。



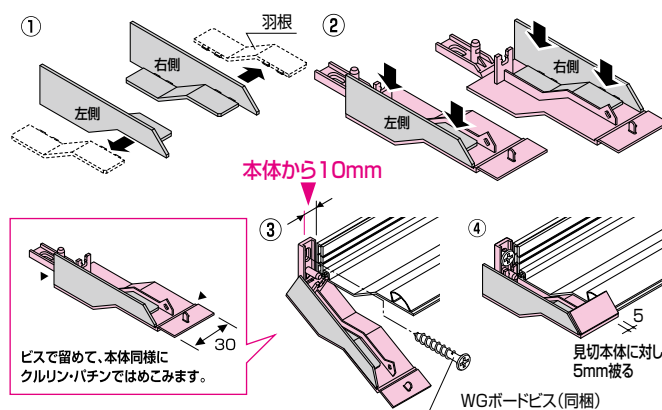
●ジョイント



手順6: エンドキャップ取付け

- ① 使用する向きに合わせてエンドキャップの左右にある羽根の片方をカッターで切り取ります。
- ② 両面テープの剥離紙をはがし、同梱のジョイントにしっかりと貼り付けます。
- ③ 本体端部から10mmの位置に②のエンド部材を下地に適したビスで留め付けます。
- ④ 根元を折るように回転してはめ込み、次に先端を回転してはめ込みます。

●エンドキャップ (両面テープ付)



手順7: 仕上げ

仕上げに、入隅・出隅部の隙間に**コークバンド**を充填して完了です。



アルミクリアランス見切 施工手順

※ビスは**下地に届く長さ**で、現場調達ください。

手順1: 取付け位置の確認

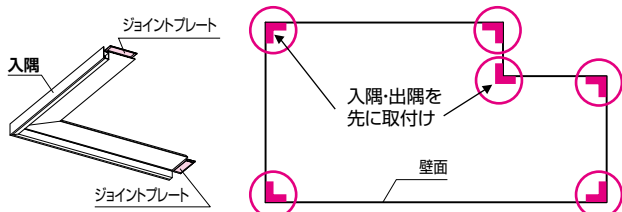
後付け施工の場合は、納まり図のように、**天井仕上げ位置**と同じレベルに出入隅役物・見切本体を取付けます。

先付け施工の場合は、天井仕上げ位置より41mm下側に墨出しし、開いたビスカバーの下端を合わせてください。

手順2: 出入隅の取付け

入隅・出隅を先に取付けてください。(下図の○赤丸印の箇所)

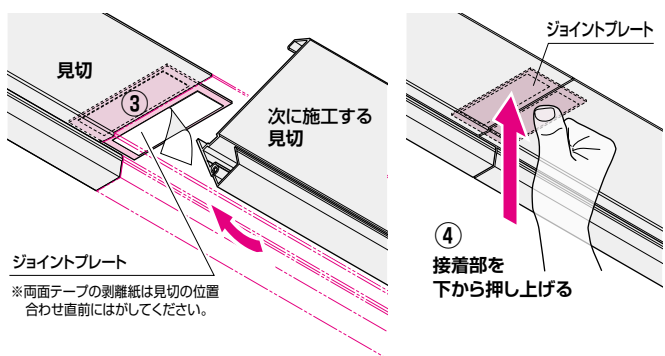
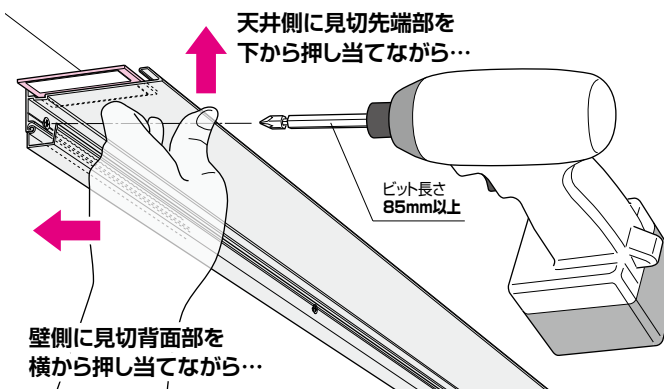
役物部材(別売)にはあらかじめ同梱のジョイント部材をセットしてください。



△注意 ●本体を取付ける際は、ジョイント部は隙間を空けず突き付けて施工します。

手順3: 見切本体の取付け

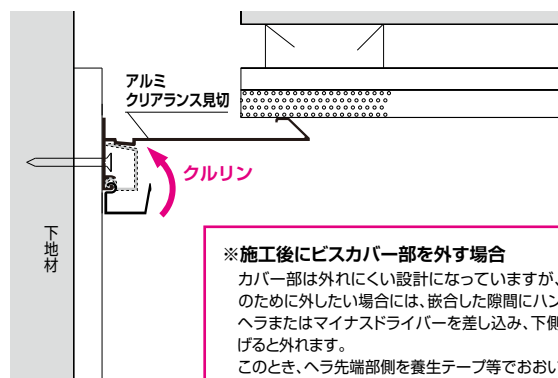
- ①半掛かりになっているビスカバー部を開いた状態で取付けます。
- ②下地のある位置を確認し、**ビス溝に沿って**ビス留めします。(455mmピッチ以下)
- ③見切本体の片側端部にジョイントプレートを両面テープ(片側)にて取付けます。
- ④次に施工する見切を位置合わせした上で、両面テープ部を押し上げジョイントプレートに圧着します。



△注意 ●見切を切断する際は、見切本体とビスカバー部の長さをそろえるため、養生テープなどで動かないよう固定して、同時にカットするようにしてください。
●電動ドライバーは、ビット長さ**85mm以上**(110mm推奨)を使ってください。短いビットを使った場合、見付けが下がる恐れがあります。
●タッピングビスを使用する場合は、下地までの下穴をあけてください。

手順4: ビスカバー部のはめ込み・施工完了

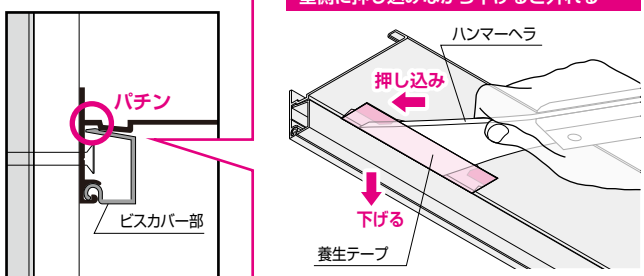
端から順にビスカバー部を回転させて、パチンと音がするまで確実にはめて施工完了します。



※施工後にビスカバー部を外す場合

カバー部は外れにくい設計になっていますが、調整のために外したい場合には、嵌合した隙間にハンマーヘラまたはマイナスドライバーを差し込み、下側へ下げると外れます。
このとき、ヘラ先端部側を養生テープ等でおおい見切本体にキズをつけないようにしてください。

壁側に押し込みながら下げると外れる

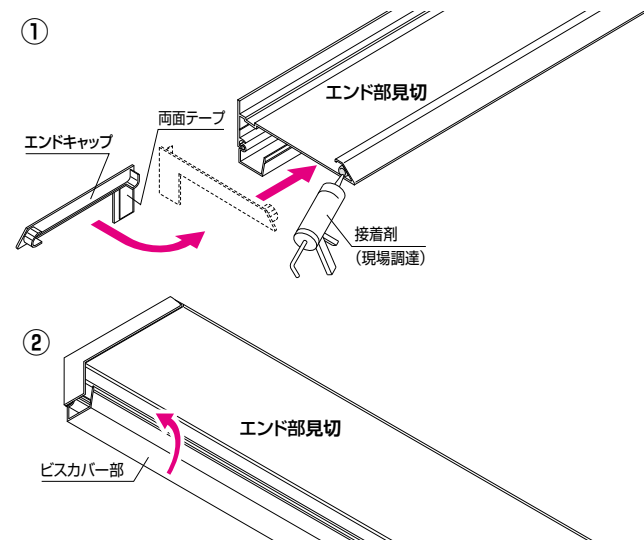


△注意

●下地の不陸による隙間(5mm以内)、ジョイント部にできた隙間は、コーキング剤を使用して隙間を埋めて仕上げてください。

突き付け部・エンド部がある場合のエンドキャップ施工

- ①先に見切本体に接着剤と両面テープでエンドキャップを取付け、固定します。
- ②手順3、手順4の方法で本体をビス打ち固定、ビスカバー部をはめ込み固定します。



下がり壁等の納まりでお困りの際は、**下記の連絡先** までお問い合わせください。

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。

価格に消費税は含まれていません。



本社／福井市三十八社町33の66 ☎ (0776) 38-8013 〒918-8585

札幌 盛岡 仙台 東関東 宇都宮 北関東 東京 西東京
神奈川 新潟 湯北 陸奥 静岡 名古屋 京都 大阪 岡山
広島 高松 福岡 鹿児島 沖縄

<https://www.fukuvi.co.jp>

KC566

2018.7



2018年7月価格改定版